



ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

秋も深まり初雪の便りが届きそうなこの頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて昨年の台風21号の余韻も残るなか、今年は台風19号が日本列島を襲いました。その被害は1都11県を跨ぎ、千曲川や阿武隈川といった大河川を含む71河川の決壊氾濫を記録したとのこと。その被害額は未だ確定しておらず、家屋が流されたり浸水したりして元の住居に住めなくなった人の数は大変なものになりそうです。



ここ数年は年に数回、大災害が日本のどこかで必ず起こっており、またいつそれが我々の住む地域を襲うかは知れません。漁川や千歳川が氾濫したらどのような被害が出るのか？ハザードマップをにらみながら想像しています。我々が個人で出来得る防災や減災は何があるのか考えさせられる今回の出来事でした。

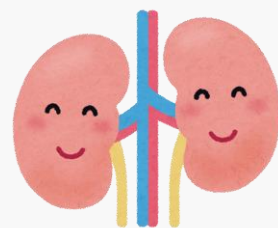


恵み野病院 腎臓・高血圧内科のご紹介

部長 日高 輝夫

部門の紹介

2018年5月に当院に赴任して新しく腎臓高血圧内科を開設いたしました。急性腎不全、慢性腎不全、蛋白尿・血尿の患者様で腎炎が疑われる方、高血圧の患者様に受診していただき、精査と加療を勧めております。



慢性腎臓病（CKD）患者は高齢化社会に伴い増加の一途をたどっております。同時に合併した高血圧、電解質異常も増えてきております。そのようなCKDの患者様の腎機能が低下していくことをできるだけ食い止め、腎臓代替療法への移行を遅らせたいと努力しております。また、微量アルブミンは生命予後悪化の兆候となることが言われており、生活習慣病を中心に食生活や運動習慣などの改善を指導しながら予後の改善に努めたいと考えております。

腎機能が悪化すると老化が早まるだけではなく、血管が石灰化したり、骨折が増えたりします。他にも様々な疾患のリスクが高まります。以前に比べて血液透析治療は格段に進歩しており、以前よりもリスクを軽減すべく様々な内服薬や、静脈治療製剤が使用できるようになってきました。実際透析患者さんの予後は改善傾向にあります。透析治療に入った方々にも、今後の合併症を減らすべく一緒に治療について考えていただきたいと思います。

高血圧は体質や体格が影響してきます。素因があるところに塩分過多、肥満があると高率に高血圧が出現してきます。本態性高血圧は高血圧の90-95%を占めますが、他にも高血圧を引き起こす内分泌（ホルモン）の不適切な働きによって高血圧を引き起こすことがあります。高血圧の5-10%を占めるこれらの疾患を除外した上で、適切な治療を勧めていくことが必要と考えられます。

腎臓と高血圧は密接に関わっております。元気な老後を過ごすために、適切な食習慣や運動習慣を保つようにしましょう。

スタッフ

日高輝夫：1997年卒業
総合内科専門医・指導医
日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医
日本救急医学会専門医



病院敷地内禁煙のお知らせ



当院の**病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止**となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

